



ブログは2年ほど続けているのですが、毎日必ずその日の出来事や訪れた場所で感じたことなどを自ら書き込むようにしています。最初はパソコンのことがまったく分からなくて、講座を受講したんです。でも、ちんぷんかんぷんで(笑)。それでも、分からないながらも何とか自分で立ち上げたんです。今ではYouTubeを入れたり、結構テクニックを使えるようになったんですよ。

ブログには、医学講座や認知症ケアのポイント、Q&Aなどのカテゴリもあり、自宅で介護をされている方からコメントをいただくこともあります。たとえば、ある方から「認知症の妻の介護をしているが、下着を買うのに困ってインターネットで買ったらサイズが合わず無駄になった」というコメントがあったんです。その方は、介護中だと分かるマークを身につければ堂々と買い物もできるし、女性用トイレにも入れるとおっしゃっていて。その声をもとに「認知症の人と家族の会」が県に働きかけ、全国初の「介護マーク」が生まれたんです。

このように、私が様々な集まりに出席したり、メディアを通して発信を続けるのは、地域や社会との繋がりが大事だと感じているからでもあるんです。以前、地元の小学校で認知症サポーター養成講座を開催したことがあるのですが、それがきっかけになって「2人3脚」にも子供たちが遊びにきてくれるようになったんです。地域の方々とも、防災訓練を共同で行ったりと交流を深めています。実は、今は息子が運営を手伝ってくれているのですが、彼も地域密着にこだわり、私では思いつかないようなアイデアを出してくれるんです。たとえば、近隣の方々に無料の食事券をお配りして食事に来ていただき、施設を見学していただいたり。「2人3脚」は地域で暮らす人のための施設ですから、皆さんに知っていただき、身近に感じてもらえることでよりよいサービスも提供できると思いますね。

「2人3脚」はひとつの大きな家族なんです。お年寄りがいて、若いスタッフがいて、70歳を過ぎたスタッフもいる。それにご家族や地域の方々、行政がそれぞれ支え合い、2人3脚をしているというイメージですね。

私自身は、これからも認知症について学ぶ姿勢を持ち、得た知識をスタッフや利用者のご家族をはじめ、多くの人に伝えていきたいですね。それが次のステップへと繋がると思うんです。そして、それらの活動が地域や社会貢献に結びついていくことが私のいちばんの喜び、私の生命の源になるんです。

取材日:2011.2